



撮影場所:市川三郷町山保

山里の雪景色から現われた懐かしの原風景

四尾連湖へと向かう山保(やまほ)地区の四尾連に数軒の民家がある。標高は800m近くあるだろうか。何度も訪れたことのあるこの場所が雪によって一変し、心の奥で覚えていた懐かしい原風景を思い起こさせた。市川大門市街からJR身延線を跨ぎ、県道409号 四尾連湖公園線を四尾連湖へと至る坂道を上がって行く。

この県道からは日向山の仏舍利塔や富士川、そしてその先には南アルプスの山々が一望できる。そこをさらに進むと四尾連湖の手前に数軒の民家が建ち並ぶ。普段は静かでどこにでもある山里の家々だが、雪をまとった姿は、古い蔵や屋根の造りから懐かしい景色を見せてくれる。この場所だけ一瞬、タイムスリップしたかのような不思議な時が流れていた。